

進取 自律

豊崎中学校 校訓
昭和45年～

第1号
平成31年4月9日(火)
文責 前田

はじめに

豊崎中学校校長の前田篤志と申します。本校勤務2年目となりました。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

この通信は、本校の教育に関する様々な出来事や話題、校長としての考え等を広く発信する目的で作成・発行します。

タイトルについて

「進取 自律」とは、豊崎中学校の校訓となっている言葉です。僭越（せんえつ）ながら、通信のタイトルとして使わせていただきます。この通信のタイトルとすることには、次の二つの狙いがあるからです。

- 1 「進取 自律」が本校の校訓であることを広く周知するため
 - 2 「進取 自律」がもつ意味をいつでも忘れず、意識して行動できるようにするため
- ちなみに、それぞれがもつ意味は、次のとおりです。



進取：○どんなことにも自分から進んで取り組もうとすること。

○将来、自分の身に様々降りかかるであろう悩みや苦しみをはねのけていこうとする強い気持ちをもとうとすること。

自律：○他の人の言うことにそのまま従うのではなく、自分なりの考えをしっかりともち、自分の考えを基にして行動できるようにしようとする。

進取 自律については、始業式でも取り上げました。その一部を紹介します。

始業式 式辞 平成31年4月8日

（前略）さて、これからの一年間を過ごしていく上で、常に身近に備えて、しっかりと心に刻んでおいてほしい言葉を皆さんへ贈ります。このような言葉を座右の銘といいます。

それは、「進取 自律」です。「進取」とは、進んで事を行うこと、前途の困難を押し切ってする根性のことです。

「自律」とは、他に制約されず自分で自分を制御し、自分を磨いていくことです。

進取の解釈としてもう一つ加えることができます。それは、今までの考え方ややり方にこだわらず、新しいことをしようとする、という意味であり、つまりは挑戦です。

どのような場面で、座右の銘を役立たせるのか、例を挙げます。自分が何か一つの仕事を任されたとします。その際、全て順調に事が進み、何の悩みもなく責任を果たし、満足いく結果が出せるということは、私の経験からいって、ほぼありません。むしろ、予定通りに事が進まず、心が折れそうになったり、いらいらしたりすることの方が数多くあるでしょう。そのような時に、励ましの言葉をかけてくれる人が、自分の周りにいれば、気持ちが救われますね。それは恵まれた環境と言えます。実際はそうではない時も多々あるかと思われまます。支えてくれる人がそばにいない時は、自分で自分を励まさなければならぬ。その時に、座右の銘を思い出すのです。進取 自律を思い出し、その意味をかみしめてほしいのです。他の人に依存することも大事ですが、依存する前にまず自分の力でできる限り頑張ってみることもまた大事なことです。どうか進取 自律を心に刻んでほしい。（後略）

1年間、どうぞよろしくお願いたします。

